



議会だより

第146号
かわさき

令和4年5月1日発行
福岡県川崎町

[題字] 森 秀二さん (川崎町教育委員会 教育長)



同和保育所 卒園児

3月 定例会議

令和4年度 当初予算

条例の制定・改正

6人の議員が登壇 ～一般質問～

2 川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

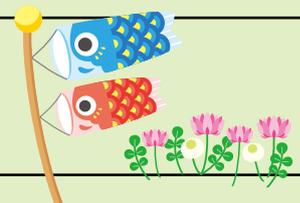
QRコードからもご覧になれます▶

7 <http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き 川崎町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

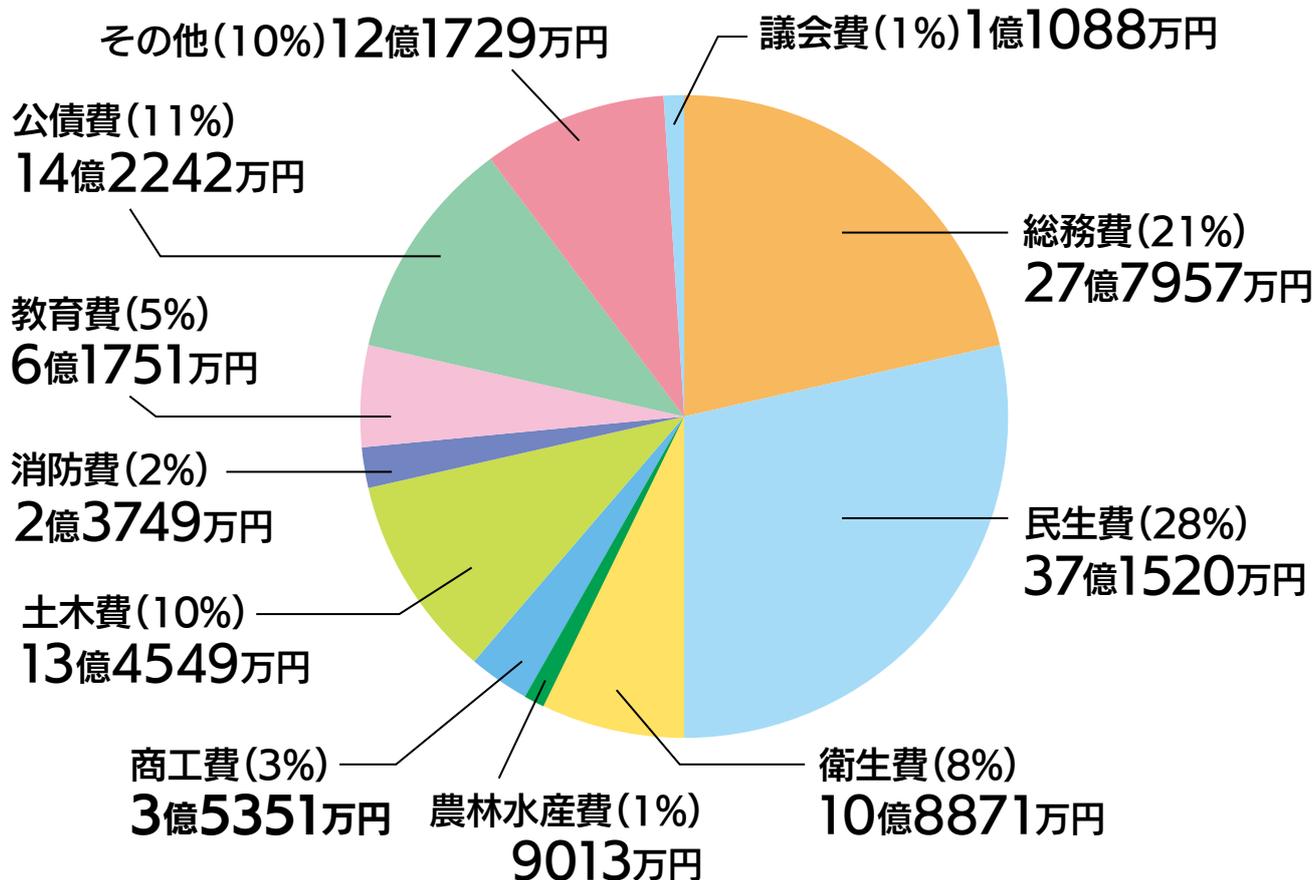
川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
【お問合わせ】 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



令和4年度 当初予算可決

一般会計予算額は、**129億7820万円**

昨年度より15億6732万円の増



庁舎空調設備改善に
7億7902万円

道の駅の整備に
3706万円

De・愛周辺の整備に
1億円

今年度も 川崎町ReBorn!商品券
1億7027万円

小学校に電子黒板等を整備
1858万円

などを計上

※金額については千円以下を四捨五入しています

令和4年度予算 特別会計

学校給食センター
1億6294万円

国民健康保険事業
勘定
19億6765万円

後期高齢者医療
2億5038万円

歳出の主な内訳

総務費	マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票などが交付できるためのシステム改修費に2785万円、町民税などをコンビニでも納付できるためのシステム改修費に971万円など。(共に令和5年度運用)
民生費	老人福祉事業、障がい者支援事業、放課後児童健全育成事業、保育所運営事業など。
衛生費	総合健康診査の無料化、スズメバチ駆除助成金に25万円など。
農林水産費	農業次世代人材事業(新規就農者に対する補助)に300万円など。
商工費	観光施設の整備として、De・愛周辺整備事業に1億円など。
土木費	橋梁の補修工事に7060万円、町道の道路整備事業に2億113万円、大峰改良住宅改善事業に5億1693万円など。
消防費	消防団員報酬に1671万円、田川地区消防組合負担金など。
教育費	川崎小学校トイレ改修設計費に506万円、川崎町民運動公園照明設備改善事業に3659万円など。

令和3年度 補正予算

●一般会計(第7・8号)

補正額	4億3625万円
-----	----------

<主な事業>

- ◆ 住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 …………… 4億7286万円
- ◆ 障害者自立支援事業 …………… 1068万円
- ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業(5歳以上12歳未満) …………… 651万円
- ◆ 防災重点ため池劣化状況評価事業 …………… 2520万円
- ◆ 住宅新築資金等貸付事業特別会計の廃止に伴う繰出金 ……… 5億7307万円

●特別会計

- ◆ 学校給食センター(第3号)
- ◆ 住宅新築資金等貸付事業(第3号)

補正額	△300万円
-----	--------

補正額	5240万円
-----	--------

- ◆ 国民健康保険事業勘定(第3号)

補正額	なし(歳入予算の組み替え)
-----	---------------

※金額については千円以下を四捨五入しています

条例

選挙公営の範囲を拡大

川崎町議会議員及び川崎町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

区分	公営の有無			供託金額
	選挙運動用自動車	選挙運動用ポスター	選挙運動用ビラ	
都道府県知事選挙	○	○	○	300万円
都道府県議会議員選挙	○	○	○	60万円
市長選挙	○	○	○	100万円
市議会議員選挙	○	○	○	30万円
町村長選挙	×	×	×	50万円
	○	○	○	
町村議会議員選挙	×	×	頒布不可	— ↓ 供託金導入 15万円
	○	○	頒布解禁 公営対象	

消防団員の処遇を改善

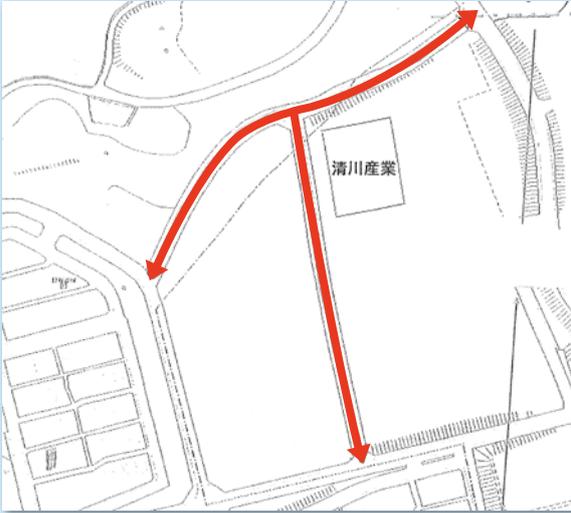
川崎町特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正
 現行の報酬等を国の示す基準額に合わせます。

川崎町特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例(昭和31年条例第78号)新旧対照表

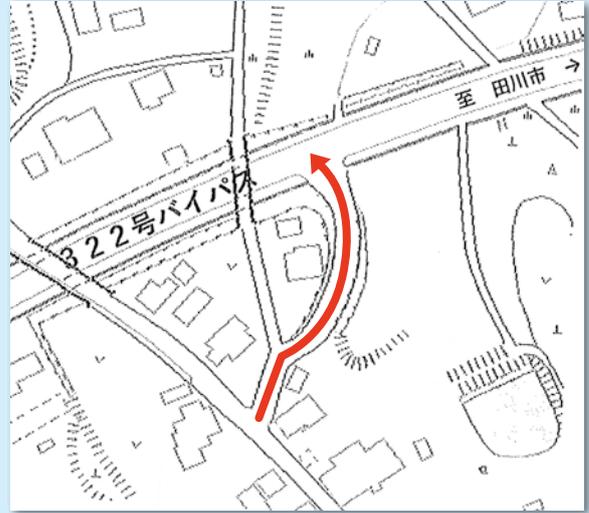
現行			改正後		
区分	報酬(年額)	費用弁償	区分	報酬(年額)	費用弁償
団長	70,000円	400円	団長	82,500円	400円
副団長	52,000円	400円	副団長	69,000円	400円
分団長	38,000円	400円	分団長	50,500円	400円
副分団長	28,000円	400円	副分団長	45,500円	400円
班長	20,000円	400円	班長	37,000円	400円
団員	17,000円	400円	団員	36,500円	400円
<ul style="list-style-type: none"> ● 火災等出動1回につき 2,000円 ● 火災等警戒1回につき 1,500円 ● 訓練・研修1回につき 1,500円 			<ul style="list-style-type: none"> ● 災害等出動1回につき 2,000円 ただし、活動時間が4時間以上の場合は以下の金額を上限として、支給できるものとする。 8,000円 ● 警戒等1回につき 2,000円 ● 訓練・研修1回につき 2,000円 		

●町道路線の認定(2件)

①三井工場団地内線と②堤迫線の二路線が認定されました。



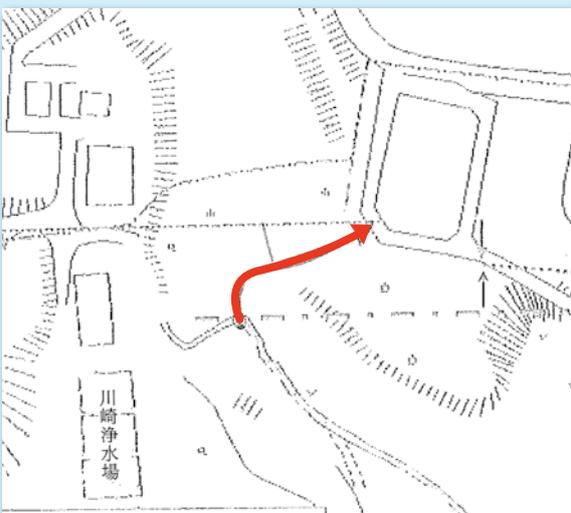
①三井工場団地内線



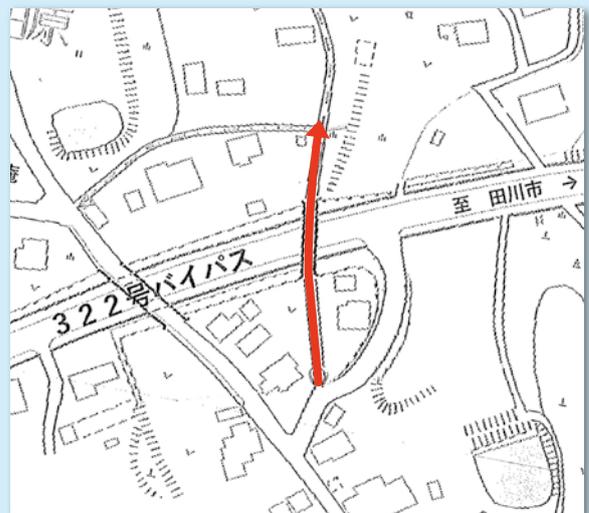
②堤迫線

●町道路線の区域の変更(2件)

①櫛毛・浄水場線と②公門原線の区域が変更されました。



①櫛毛・浄水場線



②公門原線

●川崎町森林整備計画の見直し

森林法により、川崎町森林整備計画(平成29年度～令和8年度)について見直しを行い、川崎町森林整備計画(令和4年度～令和13年度)が作成されました。

●指定管理者の指定(2件)

- 農産物直売所及び川崎町農産物加工所の一部(パン工場棟)の管理を行う指定管理者を、引き続き、川崎町農産物直売所(De・愛)出荷者組合に指定されました。
- 安宅上・下原地区簡易水道施設の管理を行う指定管理者を、引き続き、安宅上・下原地区簡易水道施設組合に指定されました。

指定期間 令和4年4月1日から
令和7年3月31日

指定期間 令和4年4月1日から
令和14年3月31日

発

議

ロシアのウクライナへの 軍事侵攻を非難する決議について

自由と平和を維持することが私たちの常であり、いかなる場合でも、武力による侵攻を容認することはできません。

ロシアの軍事侵攻により、家族や生活を奪われている人々が1日でも早く通常を取り戻すこと、世界が平和であるべく決議しました。

請

願

安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、 国民のいのちと健康を守るための国に対する 意見書の提出に関する請願書

コロナ等による医療関係者や福祉関係者などの重要性、体制が再確認され、全国民が安心して生活できるための基盤を充実・拡充させるよう国に促すもので、採択されました。

議会日誌

1月	
18日	議会運営委員会
20日	第7回川崎町議会(1月会議) 常任委員会
6日・14日	広報広聴常任委員会
12日	民生文教常任委員会
18日	総務常任委員会 建設産業常任委員会

2月	
22日	議会運営委員会 常任委員会
1日・15日・22日	建設産業常任委員会
7日・18日	民生文教常任委員会
14日	総務常任委員会

3月	
第8回川崎町議会(3月定例会議)	
1日	本会議
	総務常任委員会
2日	建設産業常任委員
3日	議会運営委員会
4日	本会議・全員協議会 広報広聴常任委員会 予算決算常任委員会(補正)
8日	民生文教常任委員会 建設産業常任委員会
9日	予算決算常任委員会(新年度予算)
11日	本会議(一般質問)
14日	本会議(最終日)・全員協議会

議会の傍聴
においでください
.....
次回定例会予定

◎6月 7日…本会議(初日)
◎6月10日…本会議(中日)
◎6月15日…本会議(一般質問)
◎6月16日…本会議(最終日)



一般質問 よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。

町政を
問う！！

問 タブレットで部活紹介を

答 教育委員会が働きかける



議員 コロナ禍で小学校と中学校間での交流が極端に少なくなっているが、教育委員会が主体となり小学校と中学校の架け橋となるべきだと考えます。

部活と生徒たちをつなげていくために部活紹介をタブレット等を利用してはどうですか。

教育長 放課後における日ごろの部活動の様子や練習試合などをビデオカメラで録画し、小学校の朝の会や帰りの会の時間を活用してみて、どんな部活があるのかというのを6年生の段階で十分わかって入学すると、今後の展望が持てるようになると思いますので前向きに教育委員会が働きかけていきたいと考えます。

問 不法投棄の周知を

答 広く周知することも必要

議員 町内一斉清掃は町民の美化意識を向上させ大きな成果を上げているが、町境の峠には不法投棄がいまだに多い。現状をホームページや広報紙などで周知し、ボランティア等(3月10日時点で23団体、個人が15人登録)の活動につなげるべきだと感じるが町長に尋ねます。

町長 町内一斉清掃やボランティアの方々は今活動していることを住民の方々に広く周知することは必要と感じています。発信も視野に入れ検討します。

問 学校用品のリユース促進を

答 学校に回収ボックス

議員 中学校必需品(特に制服・体操服・カバン)のリユースを町指定業者やボランティア団体に委託することはできないでしょうか。

教育長 田川市ではNPOがリユース流通事業を営んでいるという話は聞きましたし、パンフレットも見て読みましたが、本町においてはそういう準備を進めているというお話は小耳に挟んでいます。教育委員会が何かできるかということを考えたときには、保護者への情報提供や、学校現場に回収ボックス等を置くことを検討します。





てしまゆみ
手嶋 真由美 議員

問 学校施設の バリアフリー化の加速を

答 多目的トイレなど具体的に
進めていく

議員 本町の小中学校における車いす使用者用トイレ、スロープによる段差解消、エレベーターの整備といったバリアフリー化の状況はどのようになっていますか。

教育長 中学校は新設なので、すべて整っています。小学校のバリアフリー化の現状は、スロープは、1カ所未整備の学校がありますが、早急にスロープ板等による段差解消を行いたいと考えています。多目的トイレについては川崎小学校、真崎小学校に設置が完了していません。エレベーターは、すべての小学校に未整備ですが、川崎東小学校には車いす用階段昇降機があります。

議員 具体的に整備計画を策定しバリアフリー化への取り組みを加速するべきだと考えますが、今後どのように進めていきますか。

教育長 特に多目的トイレへの改修、洋式化とあわせ川崎小学校、次に真崎小学校の順番で具体的に整備を進めていきます。エレベーターについては金額もかかりますので、大規模改修等の時に考えていこうと思っています。

他に川崎町のデジタル化の状況と取り組みについて、質問をしました。

問 お悔やみコーナーの設置を

答 一カ所にまとめて対応できる仕組みを検討

議員 人が亡くなったときの手続きは大変で、御遺族にとっては、手続きの負担だけでなく心の負担にもなっています。住民サービスとなる手続きの簡素化と、窓口の業務改善につながるお悔やみコーナーを本町でも設置はできませんか。

町長 御家族や御遺族の方は心理的な負担が大きい中で手続きをしなければいけないことはわかっています。川崎町の場合は1階のロビーで済みますから担当者が丁寧、親切に対応しながら各部署を回ってスムーズにやっていきたい。平均時間としては1時間ぐらいを見込んでいますので、1カ所にまとめて対応できるような仕組みも検討していきたいと思っています。

問 行政手続きの押印廃止の考えは

答 4月から実施する予定

議員 政府は、デジタル化を進める一方で、行政手続きの押印廃止も同時に進められています。国の動きと連動して廃止対象リストの作成など行政手続きの押印廃止についての考えはありますか。

町長 行政手続きにおける押印等の見直し洗い出し調査を行い、改正が必要であると判断したものについては、4月から実施する予定です。



川崎中学校のトイレ・エレベーター・段差のない昇降口▶



問 教員不足になってないかを問う

答 小中学校合わせ3名の教員定数不足



まつおか ひさよ
松岡 久代 議員

議員 福岡県は教員不足が問われていますが、本町では教員の配置は大丈夫ですか。

教育長 小中学校合わせて3名の教員定数が欠員。小学校教員2名は産前育児休暇で代替配置がなされていなく、中学校は新規採用指導教員が未配置です。

議員 配置が3名少ないことは、先生たちが急用や、コロナ関係で欠席した場合、教頭や校長が入るのですか。

教育長 主幹教諭や教頭が主に入っています。担任外で補助教員が若干はいる学校もあります。

議員 先生方の業務が多く、労働時間を越えて働いています。やりがいはあるが葛藤を抱えており、心の余裕のない教師が多いと聞いています。本町でのメンタルヘルスはどうしていますか。

教育長 余裕が無いのは確かですが、スクールカウンセラーが教員にもカウンセリングすることができ、メンタルヘルスのアンケート施策も行っております。教員の心の状況を把握して、適切な面談を管理職が定期的に行っています。また、町任用で令和4年度は6名の補充を考え、今4名ほど見つかっています。県の教育委員会が教員定数確保の責任を負っていますので、働きかけをしながら町

の教育委員会も一緒になって、人材発掘をしていきたいと考えます。

議員 平日教科の指導に加えて授業終了後、土・日の指導と休日の取れない教職員が多数いると聞いています。部活動の業務を外部委託する考えはありますか。

教育長 部活指導に関しては大変重要だと考え、川崎中学校は部活動の指導は複数配置が来ています。帰りが遅いとか色々な問題がありますので、部活指導員として、令和4年度予算に2名計上し、働き方改革で先生方の負担も減るように進めたいと考えます。

議員 外部から専門家を増やす、先生の数を増やす、先生の給料を増やす、先生自体が尊敬される先生であって欲しいと思います。

教育長 教員が尊敬され、信頼される様な教育活動出来るよう、教育行政としても指導して参りたいと考えています。

問 町道旧三井四坑からの通学路の整備を

答 県と安全に通学出来るよう要望を重ねている

議員 通学路として広くしていただけないかを尋ねます。

町長 以前からこの件は松岡議員が中心となって取り組んでこられた問題だと認識はしています。橋の架け替え工事は本年5月に仮設橋の切り替えが完了して、現在、仮設のほうで通行を行っているところですが、発注者の県土整備事務所に確認したところ、すべてが完了するのは、令和7年9月ごろを予定しているということです。通学路の整備についてですが、県道部分については県と相談しながら、子どもたちにとって安全に通学できるような改善をしていただきたいという要望を重ねています。また、三井につながる道ですが、これもその時期にどういう風に整備して行くのかも含めて検討して参ります。





ちば かよこ
千葉 加代子 議員

問 虐待問題をかかえる 家庭の支援は

答 個別の支援プランで対応

議員 昨年の児童虐待件数は、10万8050人で過去最高ですが、本町の実態を伺います。

町長 身体的虐待13人、性的虐待2人、ネグレクト128人です。

議員 虐待問題を抱えている母子家庭では、厳しい経済状況や雇用状況であり、抑鬱、貧困、孤立等複数の要因で母子関係、子どもの発達にも影響が及びます。ひとり親家庭、特に母子家庭についてのフォローは十分ですか。

町長 母子手帳交付時に経済面や支援者などの有無、出産や子育てのリスクを保健師が聞き取り、ハイリスクを伴う場合は、個別の支援プランを作成し出産や育児の不安を取り除くよう心がけています。

問 インクルーシブ教育の 取り組みは

答 個別の指導計画を作り対応

議員 共生社会の形成に向けて、障がいのある子どもを通常学級に在籍させ障がいのない子どもと同様に教育・指導するインクルーシブ教育が重要視されていますが本町の実態を尋ねます。

教育長 小学校全体で56名、中学校では21名在籍しています。ともに学ぶ機会が持てるよう障がいの程度に応じて個別の指導計画を作り、児童生徒一人ひとりの状況に適した教育に努め、適切な支援をしながらともに学んでいます。

問 免許自主返納者に 特典を

答 近隣の状況を見て対応

議員 高齢ドライバーの免許保有率は平成21年と比較して1.8倍で事故も多発しています。交通手段の乏しい中、免許の自主返納者に対する特典を考えていただけませんか。

町長 近隣の状況を踏まえて特典等を付けた中で、ご理解していただくのも必要と思います。

議員 バス停まで歩いていけない方のためにデマンド交通（利用者の予約があった場合運行する交通機関）の検討は可能でしょうか。

町長 コミュニティバスの利用を推進していますが、10年以上経過しましたので、公共交通計画の見直しを含め、より使い勝手の良い地域の交通手段を確立していきたい。



他に学校施設の防災機能、子宮頸癌ワクチン、学校司書等について質問しました。

問 「SDGs」は今や「トレンド」、地域おこしに戦略的先進的に取り組めば

答 10年先も住み続けたい町へ、企業とタイアップ等して取り組む



議員 「SDGs」(持続可能な開発目標-17のゴール)は、人類のそして国際社会での義務である、一方で「SDGs」は、すでに社会の「トレンド」と受け止められており、この取り組みは「地域としては先進的である」との評価に繋がります。

行政的には、ソフト面の「SDGs」に取り組めば、結果的に様々なハード面の改善と成熟になると期待されます。

他自治体で「地域おこし協力隊」の定着率も「SDGs」の内容に沿った活動をしているところに若者の関心が集まりやすく高くなっているようです。

本町では、積極的に、戦略的に取り組む考えはどうかを尋ねます。

又、環境基本計画策定が予定されていますが、どのように「SDGs」に則っていますか。CO₂削減量など「SDGs」の成果については数値で報告を示していただきたい。

町長 当町の総合計画で「10年先も住み続けたい町へ」としています。

新しい取り組みでは環境衛生で海洋保全の一環として、プラスチックごみの減少への取り組みとして、さいたま市に本社を有するウォータースタ

ンド(株)と循環型社会の形成に向け連携協調の協定を結び、町内10カ所、約12台の給水スタンドを設置します。

町民の方、職員の意識の向上、児童生徒の教育の一環として、マイボトル持参による使い捨てペットボトルの減少を目指します。

又、庁内の空調設備を改修して3,000トンのCO₂削減を目指して取り組みます。

住宅環境課長 「環境基本計画」は、水質の汚染、空気等の汚染、浄化槽設置等環境を守る取り組みの問題、また循環型社会の取り組み、環境美化への推進するための取り組み計画です。

今後は、具体的な成果を数値化して作成し報告していきたいと考えております。



▲給水スタンド

問 行動するなら今、まずは職員と町民の意識の温度を上げる

答 「環境基本計画策定」の後、職員の研修から

議員 「SDGs」について、多くの資料、DVDなどを活用して、認識を深める、意識の温度を上げることからはじめてもらいたい。

町長 「環境基本計画策定」にそって、全職員や町民に対して青少年ホームなどで取り組み、発信していきたいと思います。

Challenge for
SDGs
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
一人ひとりができることから始めよう /



一人ひとりの行動で「未来が変わる」「未来を変える」「未来へつなぐ」



問 新たに出来た交差点の安全性は

答 現状を見て対応して参りたい

議員 De・愛周辺整備での交差点変更に伴い新設された交差点に信号機が設置されないのはなぜですか。

町長 De・愛の整備で道路が変更になり信号機がないことは町も十分承知しています。道路の状況が変わり町としても信号機の設置を県と警察に要望はしております。

ただ、設置については設置に関する指針があり町は何回も要望しましたが、現状としては指針に合わないということです。

議員 新設された交差点内の交通量、特に児童が通学する時間帯7時半から8時までの時間にどれ位の車が通過しましたか。

町長 7時から8時までの区切りで調査を行い、平日は往復88台、休日は29台でした。

議員 県道と交差する道路なのにどちらが優先道路なのか分からない。どちらが優先なのか、カラー舗装をするなどドライバーがはっきりと分かるような道路にできませんか。

町長 町内歩行者の安全を守るのは町の使命でありますので出来ることは町で取り組んでいきたい。信号機の設置に向けても今後も積極的にいろんな機会を利用して県に要望して参りたい。町道に関しては安全第一を念頭に十分整備をしていきたい。

議員 歩道ありという標識が設置されていますが、ドライバーからは見えづらい。標識が明確に分かるようにすればドライバーも注意して運転をするのではないかな。改善をしていただけませんか。

町長 県とも協議して参りたい。

議員 横断歩道の停止線の位置は変えられないか。今の歩道位置だと歩道を巻き込むような事故になる可能性があります。もう1メートルほど停止線をずらせば、追突事故を回避できるのではないのでしょうか。安全な交差点になるように取り組んでほしい。

町長 横断歩道の停止線の位置は警察と十分協議を重ね決定した位置です。協議して決定したことなので、しばらくは状況を見守っていきたい。現実的な不具合が出てきましたら県に申請して設置箇所の変更をお願いしていきます。

議員 点滅信号、もしくは歩行者用押しボタン式信号機の設置はできませんか。

町長 町としても安全第一を考えて積極的にお願いをしているところです。今後も引き続き現状を見ながら対応をして参りたい。



委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



民生文教常任委員会

生徒の安心・安全を第一に

7月にスクールバス利用の調査をしたときは、13名のキャンセル待ちの生徒がいると報告がありましたが、10月に再調査を行ったところ、現在は申込者全員乗車できていると報告を受けました。

徒歩通学や自転車通学での体力づくりも重要ですが、生徒の安全・安心の確保が一番です。通学路には危険な箇所や暗い箇所があり、部活動で遅くなったときは不安があります。生徒の安全のため、スクールバス利用の申し込みが多くあった場合は、停留所・運行経路の見直しや、利用希望者全員が乗れる体制づくりを速やかに行うよう要望し、不登校の調査と関連しますが、通学距離が3km未満の生徒でスクールバスの利用希望者は何名いるのか、その中で、不登校の生徒が何名いるのかを調査し、スクールバスを利用することで不登校生徒が少しでも減るよう適正な運行の調査を行いたいと思います。

※通学距離が3km以上の生徒がスクールバス利用対象者となっています。

保護者との信頼関係を築きましょう

令和3年11月末時点で不登校が小学校の合計が51名、中学校が48名、不登校兆候の児童生徒を加えるともう少し多くなるようです。

不登校の要因で多いのは、生活リズムの乱れ・無気力等でした。

また、お兄ちゃん、お姉ちゃんが学校に行かないので、自分も行かなくていいといったような家庭の問題が多く、なかなか学校側も踏み込めず、ソーシャルワーカー等も頑張っていますが、仕事という垣根を越えてないようです。

家庭での生活リズムの乱れを正すのは保護者しかいけませんので、保護者と信頼関係が築けるよう根気強い改革の要望をし、町の事情や背景を踏まえて保護者と話のできる人材を民間から募集してはと提案しました。

※不登校とは病気・けが以外で30日以上欠席の児童生徒、不登校兆候とは欠席が30日未満の児童生徒。

最大限の活用を

川崎中学校1年生のタブレットを利用した学習の様子を議会の全員協議会室からリモートで見ることができました。

活用は進んでいますが、まだ通信での連絡や採点が行われていないようです。また学習風景を見ると、先生からの一方的なものでした。双方向での利用が本当の活用ですので、タブレットを最大限に有効活用できるようお願いしました。

ほかに部活動に関する調査・子育て支援センターに関する調査をおこないました。





総務常任委員会

いつまでもそしてだれもが 明るく楽しく生活できるように

スマートウェルネスシティ事業とは、運動やスポーツのきっかけづくりを皆さんに提供し、個人の体力や課題に沿った指導を行い、最終的には住民自らが自立して運動できるように習慣化を促し、いつまでもそしてだれもが明るく楽しく生活できるようになればという目的で始められたものです。

今後の計画としては健康サロンの普及、公民館で実施している事業の拡大、それから健康アンバサダーの活用、町民の運動習慣の定着、歩数の増大を図っていききたいそうです。

まず今の何倍かの参加者を受け入れることで真の目的が達せられると思うので、ぜひ努力してほしいと要望しました。また、体力年齢が若返ったというようなデー

タや参加した方々の実際の感想などを皆さんに知っていただくために広報紙などを大いに活用してそうした声を届けていくことが大事であると提案しました。

隊員が活躍できるためには

現在まで6名の採用実績がありますが、町内に残って起業、定住した隊員はおらず、その原因は活動期間終了後、起業や再就職等自立して生計を立てるめどが立たない、就任時に希望していた活動と実際の活動内容にギャップがあり、時間経過とともに就任時の熱意が失われたなどだそうです。

今後については、お店などに弟子入りをして、働きながら地域おこし協力隊としての役割も果たしていく。そしてゆくゆくは手に職をつけて、独立して川崎町で起業するようなパターンも現在研究しているところだそうです。



建設産業常任委員会

農業用ため池を現地調査

「ため池ハザードマップ」に掲載されている防災重点ため池の15箇所を調査しました。

このうち、西法寺池は現在利用がなく、防災の観点からも廃池にする予定だそうです。

委員会からの意見

これから遊休農地が増えていくと考えられます。それに伴い池の利用も減ってくると思うので、農業用ため池のあり方を十分検討していただきたい。

城山子どもの森公園はどうする

現在は豪雨災害で崩れているため、立ち入り禁止にしています。災害箇所については少しずつ浸食している様子も確認されているとのことです。

今後は一度測量をして、補修、整備の範囲や工法について協議していくそうです。

委員会からの意見

公園の上には史跡があるのでその部分はきちんと整備してほしい。

入口周辺など人目につくところは草刈り等をして外観に配慮していただきたい。

工事個所の進捗状況をチェック

①観光交流広場

現在は整地が完了したところからこれから芝張り、桜の木の植栽を行います。ゴールデンウィークには供用開始予定。

②大豊池埋め立て工事

防火水槽の埋設、アスファルト舗装が完了。これから水道管の敷設工事と道路改修工事に入っていきます。工事完了後の土地は地区の方々と協議のうえ、使用方法を決めていきます。

委員会からの要望

工事中の周辺の交通への安全の配慮、工期等の計画の順守に努めること、やむなく計画変更時には、関係各所への周知や書類等手続きを遅滞なく行うこと、これらをお願いしました。

令和3年度 第7回川崎町議会(1月会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果										
			中山	北代	手嶋真	川根	手嶋康	松田	繁永	見月	寺田	千葉	樋口
予補算正	一般会計	P3を参照	(可決) 簡易表決										

令和3年度 第8回川崎町議会(3月定例会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果										
			中山	北代	手嶋真	川根	手嶋康	松田	繁永	見月	寺田	千葉	樋口
諮問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	委員の任期満了に伴い委員を推薦するもの(村上一枝氏、島田由美子氏)	(適任) 簡易表決										
選任	固定資産評価審査委員会委員の選任	委員の任期満了に伴い委員を選任するもの(米田勝氏)	(同意) 簡易表決										
その他	田川地区清掃施設組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分	乙女環境センターの処分に関して協議するもの	(可決) 簡易評決										
制条例の	議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	P4を参照	(可決) 簡易表決										
条例の一部改正	議員報酬及び特別職給料審議会条例	条例中の文言の追加、変更	(可決) 簡易表決										
	特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例	P4を参照	(可決) 簡易表決										
	企業の誘致及び育成に関する条例	条例中の文言の変更	(可決) 簡易表決										
	大型共同作業場等の設置及び管理に関する条例	条例中から川崎町大型共同作業場(縫製)の項を削るもの	(可決) 簡易表決										
認定	町道路線の認定	P5を参照	(可決) 簡易表決										
変更	町道路線の区域の変更	P5を参照	(可決) 簡易表決										
計画	森林整備計画	P5を参照	(可決) 簡易表決										
指定	指定管理者の指定(2件)	P6を参照	(可決) 簡易表決										
予補算正	一般会計	P3を参照	(可決) 簡易表決										
	特別会計(給食・国保・住新)	P3を参照	(可決) 簡易表決										
予新年度	一般会計	P2を参照	(可決) 簡易表決										
	特別会計(給食・国保・後期高齢)	P2を参照	(可決) 簡易表決										
請願	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための意見書の提出	P4を参照	(採択) 簡易表決										
発議	ロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難する決議	P4を参照	(可決) 簡易表決										

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

令和3年度 議員会議出席表

	本会議	常任委員会					議運	視察・研修・来町等	全員協議会	議長公務	出席数	欠席数	届出欠	公務欠	病欠	その他	会議数
		総務	民生	建産	予算決算	広報広聴											
中山 信和	20	14			6	14	14	2	8		78	1	1				79
北代 俊雄	20	14			6		13		8		61	1		1			62
手嶋真由美	20		18		6	14		2	8		68						68
川根 節生	20	15			6	3	13	1	8		66						66
手嶋 康徳	20			21	6	13	14	2	8		84						84
松田 孝行	20			18	6	10		1	8		63	3	1		2		66
繁永 英樹	20		16		6	8			6		56	6	6				62
見月 康一	20		18		6				7		51	1	1				52
寺田 響	20		18		6	3	1		8		56						56
千葉加代子	20			21	6		13	1	8		69						69
原 節雄	18		16		6		11		7		58	8	1	6	1		66
樋口 秀隆	20	15			6		1		8		50						50
松岡 久代	20			21	6	3	1	1	8		60						60
大谷 春清	20	15			6	10	14	1	8		74						74
櫻井 英夫	20			20	6		13	1	8	57	125	1	1				126

今回の主人公



卒園おめでとう!
よしむら のえちゃん



保育所で1番がんばったことは、何ですか?
運動会の二人三脚です。友だちと一緒にがんばりました。



卒園する今の気持ちを教えてください。
知ってる友だちと離れるのが、とてもさみしいです。



将来の夢は、何ですか?
美容師さんになりたいです。



小学校でがんばりたいことは何ですか?
体育をがんばりたいです。

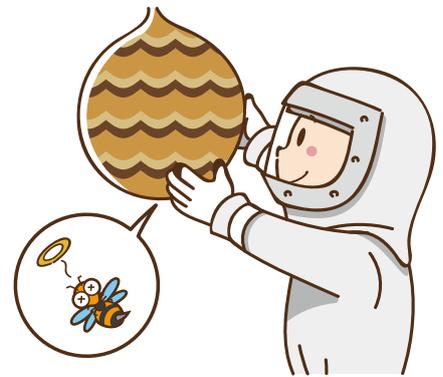


追跡レポート

令和3年9月定例会議での
川根議員の一般質問

「本町ではスズメバチの駆除等は業者を紹介しているが、生活困窮者や非課税世帯などの駆除したくても出来ない方に費用の助成が出来ないか」

令和4年4月から助成が付きまして!!
(上限5000円)



編集後記



ロシアのウクライナ侵攻により、平和について考えさせられる日々が続いています。恵まれすぎて貴重さに気がつかないこともあります。大事なライフラインの一つである水についても、蛇口をひねれば勢いよく出てしかも飲める。恵まれた生活に安住し大切なものを見失うこともあります。石油に代わり、21世紀は水の世紀と言われるほど貴重な資源です。水は命の糧、不幸にも災害がそれを教えてくれます。地震被害の福島は今も断水に苦しんでいます。みちのく水はまだ冷たい、復興の春が早く来ることを願うばかりです。

- 発行責任者 櫻井英夫
- 議長 櫻井英夫
- 「広報広聴常任委員会」
- 委員長 山中信和
- 副委員長 手嶋真由美
- 委員 繁永英樹
- 委員 手嶋康徳
- 委員 松田孝行
- 委員 大谷春清